



富山県

No.58 2011年1月

中央植物園だより



ブナ

日本の冷温帯落葉広葉樹林を代表するブナ林は、富山県内では標高 500 m ぐらいから上部に分布します。新しい葉はまだ雪が残っている晩春から初夏にかけて展開します。

「残雪のブナ林を行く」 撮影 / 南端外治さん (第 13 回私の植物写真展応募作品)

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

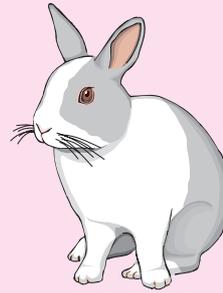
1月～3月のサンライトホール展示

「干支にちなんだ植物展」1月26日(水)まで開催



ラビット・イヤー・オーキッド

昨年の干支「寅」と今年の干支「卯」にちなんだ名前の植物やそのほかの干支にちなんだ植物を展示します。



カランコエの仲間「黒兔耳」

「平成22年度研究発表展」1月28日(金)から3月2日(水)

中央植物園の職員が日ごろから行っている植物やきのこに関する調査・研究の成果をわかりやすくポスターにまとめて展示します。



昨年の研究発表展のポスター

「ツバキ展」

2月11日(金)～3月2日(水)

中国雲南省のトウツバキとその文化を紹介。そのほか日本のツバキの園芸品種の鉢物を展示します。



トウツバキ「一品紅」



トウツバキ「菊弁」



中国雲南省大理市のツバキ祭



トウツバキのデザインの民族衣装



トウツバキ「獅子頭」



トウツバキ「紫袍」



日本のツバキの園芸品種「卜伴」



日本のツバキの園芸品種「羽衣」

第39回富山県蘭まつり大会 3月4日(金)～6日(日)



昨年の展示作品から

富山県蘭協会と共同で開催します。この時期に見ごろの洋ラン、東洋ラン、野生ランなど350点を超えるランが出品される富山県最大のラン展です。洋ランの華麗な世界、東洋ランの和の世界をお楽しみください。

今回は松崎直介氏(故人)から植物園に寄贈されたランの切手コレクションも同時に展示します。松崎氏は新宿御苑においてランの栽培管理を専門とされ、退職後にランの切手を収集しはじめられました。国別に切手を分類・整理されただけでなく、切手に印刷されたランの種類も同定されており、あまり目にする事ができない貴重なコレクションと思われます。

平成18年に他界された後、ご遺族より故人と交流のあった富山県中央植物園に寄贈されました。

関連行事

★講習会「ランの植え替えと管理」

3月5日(土)

①10:30-12:00 ②13:30-15:00

3月6日(日)

①10:30-12:00 ②13:30-15:00

場所/中央植物園研修室

講師/富山県蘭協会会員

申込不要、聴講無料



企画展

「桜を飲み、花に酔う —サクラにちなんだ飲み物展—

3月11日(金)より開催

桜湯や桜の香りをつけた様々な飲み物の展示、「桜」の銘柄の日本酒を紹介します。



1月～3月のおもなイベント 「植物園でバードウォッチング」

植物園内の池にはこの時期多くのカモが飛来し、その種類、数ともに県内有数です。日本野鳥の会富山との共催で、園内の池に集まる水鳥の探鳥と合わせて、見ごろの植物を案内します。

2月13日(日)・20日(日)
両日とも午後 13:30～15:30

場 所 トリアスホール・園内
定 員 それぞれ30名(要電話申込み)
参加費 無料、ただし入園料が必要です。



植物園 トピックス

■第18回TOYAMA 植物園フォーラム開催

今年度のフォーラムは第10回生物多様性条約締約国会議(COP10)の開催(名古屋市)に合わせて、「富山の生き物たちは今…郷土の生物多様性を考える」と題して10月3日に開催されました。富山県生物学会との共催で、植物をはじめ県内の動物、昆虫、鳥類などの10名の専門家のパネリストによ

て、県内の生物多様性の現状の報告と課題についての議論が繰り広げられました。その中で、数少ない専門家だけでは現状を把握するのに限界があり、アマチュアの方からの情報が貴重であることが指摘され、情報提供への協力が呼びかけられました。

■ワタを素材とした教育プログラム開催

11月24日に武田薬品京都薬用植物園渡辺前園長を講師にお招きして、ワタの特性と利用法・ワタを素材とした教育プログラムの紹介と実演が実施されました。当日は植物園職員のほか、植物園友の会会員の方が参加し、ワタについての知識を深めることができました。今後植物園の行事において今回のプログラムの活用が期待されます。



研究紹介◎『立山室堂平において靴底に付着して持込まれる外来植物の種子』

副主幹研究員 山下寿之

平成18年より立山自然保護センターとの共同研究で、同センター3階出入口のフロアマットに溜まる靴底についてきた土を回収し、植物園においてその土から発芽する植物を調査しています。18年度は予備調査として実施したところ、トマトやオオバイヌビワなど本来立山には自生していない植物が多数発芽してきました。19年度からは立山



平成20年度に回収した土から発芽したミニトマト。

自然保護センターの開館している4月中旬から11月上旬までの間およそ1ヵ月ごとに土を回収して、同様の発芽試験を実施しました。その後もトマトが2年間発芽し（写真）、いずれも異なる品種の果



植物園の温室内で発芽後1年で開花するまで成長したオオバイヌビワ。

実が実りました。このことは弁当などに入っているトマトをどこかで落とし、その上を観光客が歩いていることが推測されます。また、オオバイヌビワは沖縄から中国南部、東南アジアにかけて分布するイチジクの仲間です。この方面（特に入山者数の多い台湾からの可能性が大きいと思われる）からの観光客によって持込まれたと考えられます。これらの種類以外では、すでに標高2450mの室堂に侵入・定着しているオオバコやスズメノカタビラなどのほか、室堂ではまだ確認されていない



室堂ターミナル出入口のマット。多くの入山者はここを歩いてから散策する。

平野部の路傍雑草のメヒシバなどが多数発芽してきました。これらの種子が必ずしも室堂で発芽するわけではありませんが、我々は無意識のうちに室堂に本来生育していない外来植物を運んでいることとなります。

この研究がもとになり、長野県でも同様の調査が実施されるようになったほか、アルペンルートの公共交通機関の駅やバス停などにも靴底の土を落とすマットが観光会社の協力によって設置されるようになりました。このため、立山に上がる前に種子の持込みを防ぐことが可能となり、21年度からは立山自然保護センターでのマットに溜まる土から発芽する植物の種類や数量は、以前と比べるとかなり少なくなりました。

さらに22年度からはこのような発芽試験と並行して、標高1600m付近（弘法）から室堂までの散策路や道路などに侵入している外来植物の調査も実施し、外来植物の除去活動の参考となるデータを収集しています。

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール (9:00~17:00、1月中は16:30まで)

「干支にちなんだ植物展」

12月17日(金)~1月26日(水)
干支にちなんで「寅」と「卯」の名前のついた植物を展示します。入園料が必要です。

「平成22年度研究発表展」

1月28日(水)~3月2日(水)
植物園の職員による調査・研究の成果を展示紹介します。入園料が必要です。

「ツバキ展」

2月11日(金)~3月2日(水)
日本のツバキの園芸品種の鉢植えと中国雲南省のトウツバキの展示とその文化を紹介します。入園料が必要です。

「第39回富山県蘭まつり大会」

3月4日(金)~3月6日(日)
富山県蘭協会との共催による洋ランをはじめこの季節に開花する東洋ランなどを展示します。「ランの栽培講習会」もあります(講習会の欄参照)。入園料が必要です。

「桜を飲み、花に酔う —サクラにちなんだ飲み物展—

3月11日(金)~
桜湯や桜の香りをつけた様々な飲み物を展示します。入園料が必要です。

■講座・講習会

★平成22年度研究発表会

1月30日(日) 13:00~16:00
「22年度研究発表展」で紹介している植物園の職員が日ごろ行っている研究の成果をわかりやすく解説します。
場所/研修室
参加費/無料
定員/50名

植物園でバードウォッチング

◎要申込

2月13日(日)・20日(日)
13:30~15:30

植物園内の池に集まる水鳥を観察します。
場所/植物園内
定員/各30名
参加費/無料
入園料が必要です。

★栽培講習会「ランの植え替えと管理」

3月5日(土)
①10:30~12:00、②13:30~15:00
3月6日(日)
①10:30~12:00、②13:30~15:00
場所/研修室
講師/富山県蘭協会会員
定員/各50名
当日受付。

■月例行事

緑のコンサート

1月8日(土) 11:00~12:00
2月5日(土) 11:00~12:00
3月12日(土) 14:00~15:00
(当初3月は第1土曜を予定しておりましたが、蘭まつり大会のため、12日(土)14:00~に変更となりました。)
開催場所/植物園内
参加費/入園料が必要
滝沢卓氏のシンセサイザー演奏です。

日曜植物案内

1月16日(日)、2月6日(日)、
3月6日(日)いずれも時間は13:30~14:30
集合場所/サンライトホール
参加費/入園料が必要
植物園ボランティアが見頃の植物など園内を案内します。

◎要申込 事前の申込が必要です。前日までに「電話」でお申込みください。

★印はボランティア養成講座です

友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

■会費 年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法 植物園の入園窓口で随時受け付けています。



富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00~17:00(入園は16:30まで)
(11月~1月は9:00~16:30、入園は16:00まで)
休園日 毎週木曜日(4月中と祝日の場合は開園)、年末年始(12月28日~1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 600円
団体料金(20名以上) 480円
高校生以下無料
冬季入園料(12月~2月)
大人(一般および大学生) 400円
団体料金(20名以上) 320円
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ」経由萩の鳥循環または「ファボーレ」経由速星行き(休日のみ)に乗りし「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分